

CASIO P

TQT-351NJ

取扱説明書

保証書 別添

このたびは弊社製品をお買い上げくださりまして誠にありがとうございます。末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。

本機を安全に正しくお使いいただくための注意事項「安全上のご注意」を本書に記載しています。本機をご使用になる前に、必ずお読みください。なお、この取扱説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。

<p>カシオ計算機株式会社</p> 〒151-8543 東京都渋谷区本町 1-6-2
--

本機の特長

- 電波時計（国内2局対応自動選局機能付）福島県「おたかどや山」（40kHz）佐賀県と福岡県の境「はがね山」（60kHz）
- 正確な時刻と月、日、曜日表示
- 5段階で変化する電子音アラーム
- 一度止めても再び鳴り出すスヌーズアラーム
- 温度センサーにより、温度を表示
- 湿度センサーにより、湿度を表示
- 常時点灯ライト（アラームオン/スヌーズのとき）

ご使用上の注意

- 本機は精密な電子部品で構成されていますので、「極端な温度条件下」、「強い磁気の当たる場所」、「はげしい振動のある場所」での使用や保管および「強いショック」をさけてください。

- 高温では電池寿命が短くなったり故障の原因になったりしますので、暖房器具の近くや直射日光の当たる所では使用しないでください。

- 浴室など湿気が多い場所では使用しないでください。

- 以下のようなところに本機を置くことはお避けください。
 - ・テレビの上など（テレビ画面に色むらが起こる場合があります）
 - ・時計、キャッシュカード、フロッピーディスク、プリペイドカード、カセットテープの近くなど

- 極度の静電気により誤った表示をしたり、電子部品が破損する場合があります。

- 静電気により一時的に液晶の点灯していない部分にじみ現象が発生することがありますが、機能に影響はありません。

- 本機を分解しますと、精度や機能が低下しますので、絶対に分解しないでください。

- 汚れは、「乾いた柔らかい布」か「中性洗剤に浸し固くしぼった布」でおふきください。シンナー・ベンジンなどの揮発油やアルコール類では絶対にふかないでください。

- 液晶表示は、使用温度範囲（0℃～40℃）を超えると、表示が見にくくなることがあります。

- 液晶表示は、見る方向によって表示が見にくくなることがあります。

- この製品は、日本電波仕様です。海外で使用した場合、まれに日本標準電波を受信して、日本の時間を表示してしまうことがあります。海外でのご使用には対応しておりません。

<p>万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。</p>

電源に関するご注意

- 電池の残量が残っている場合でも1年に1回は全部の電池を交換してください。

- 電池が消耗しますと一般的に以下のようなことが起こります。このようなときは長時間放置せず、速やかに新しい電池と交換してください（定期的な交換をおすすめします）。

→誤動作（時刻やアラームなどのリセット、報音の停止、時刻狂いなど）することがあります。

→液晶表示は「薄くなったり」「消えたり」します。

→アナログ時計は「時計が遅れたり」「針が止まったり」します。

- 付属の電池は充電式ではありません。絶対に充電しないでください。

- お買い上げ時に付属している電池はモニター用電池*のため、電池新品時の電池寿命に満たないうちに切れることがあります。

*モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。

- 電池が液漏れを起こした場合は液に触れずにすぐにふきとってください。

製品仕様


<p>水晶発振周波数：32,768Hz</p> 表示内容：アナログ部＝時・分・秒（3針）デジタル部＝カレンダー（月・日・曜日）／アラーム時刻（時・分）、温度・湿度表示 電波受信機能：自動受信（7回/日*）、手動受信*午前2:01/午前3:01/午前6:01/午前10:01/午後2:01/午後6:01/午後10:01自動選局機能 <ul style="list-style-type: none">〔受信電波＝長波標準電波 JJY 〕 〔周波数＝40kHz / 60kHz 〕 〔年・月・日・曜日〕「時・分・秒」を受信
<p>精　　度：電波受信による時刻修正が行えない場合は、デジタル部は平均月差±30秒以内アナログ部精度はデジタル部と同等（デジタル部の連針信号により駆動）</p>
<p>アラーム機能：セット単位＝分、報音時間＝1分間、電子音アラーム（通常アラーム、スヌーズアラーム/全7回）、アラームモニター</p>
<p>温度計測機能：計測範囲＝0℃～40℃*1、計測精度＝±2℃（0℃～40℃）*2</p> <ul style="list-style-type: none">●1分に1回計測します。*4、最高/最低表示（今日、前日）
<p>湿度計測機能：計測範囲＝20％～90％（5℃～45℃において結果表示）*3計測精度＝±10％（5℃～40℃）（例 湿度50％の場合、40％～60％となります）*2</p> <ul style="list-style-type: none">●1分に1回計測します。*4、最高/最低表示（今日、前日）


安全上のご注意


絵表示について




本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。


絵表示の例



 △記号は「気をつけるべきこと」（注意）を意味しています（左の例は感電注意）。

 ⊙記号は「してはいけないこと」（禁止）を意味しています（左の例は分解禁止）。

 ●記号は「しなければならないこと」（強制）を意味しています（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）。

	危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
	警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

	警告
袋をかぶって遊ばないでください	
製品本体が入っていた袋は、お子様がかぶって遊ばないように、手の届かない所に保管または廃棄してください。窒息の原因となります。	
電池の取り扱いについて	
使用している電池を取り外した場合は、誤って電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。	
電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。	
電池は、充電や分解、ショートする恐れのあることはしないでください。また、加熱したり火の中へ投入したりしないでください。	

	注意
分解しないでください	
本機を分解しないでください。ケガをしたり、本機が故障する原因となることがあります。	
	

設置場所について

本機を不安定な場所に置いたり、不確実な掛け方をしないでください。倒れたり、落ちたりしてケガや故障の原因となることがあります。

湿気やほこりの多い場所には置かないでください。火災の原因となることがあります。

台所や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる場所には置かないでください。火災の原因となることがあります。

電池について

電池は使い方を誤ると液漏れによる周囲の汚損や、破裂による火災・ケガの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

- 極性（⊕と⊖の向き）に注意して正しく入れてください。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。
- 長時間使用しないときは、本体から電池を取り出しておいてください。
- 本機で指定されている電池以外は使用しないでください。

電池の着脱を長く伸ばした爪で行うと、思わぬケガをおこす恐れがありますので、長く伸ばした爪での着脱はおやめください。

時計が止まった場合は、速やかに電池を交換してください。また、使用しないときは電池ははずしておいてください。

<p>そ　　他：LEDライト（通常ライト、常時点灯ライト機能）、コントラスト調整</p> 主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子、CMOS-LSI
<p>使用温度：0℃～40℃</p>
<p>使用電池：単3形アルカリ乾電池（LR6）3個</p>
<p>電池寿命：約1年（電子音1分間/日、ライト5秒間/日、電波受信7回/日、常時点灯ライト機能約8時間/日 使用した場合）</p>

*1 = ●－0.1℃以下、40.1℃以上でも温度計測を行いますが、本機の温度保証範囲外となります。
●－20℃以下は“LO”表示、50℃以上は“HI”表示となります。

*2 = 温度・湿度表示は時計に内蔵されているセンサーにより、時計内部の温度・湿度を計測/表示するものです。そのため、急激な変化が起きても、その温度や湿度を表示するまで（時計内部がその温度や湿度と同じになるまで）約30分程度かかります。なお、計測機能上、本機を冷・暖房器具の送風口の近くで使用しないでください。

*3 = ●19%以下は“LO”表示、91%以上は“HI”表示となります。
●湿度表示は温度が5℃～45℃の範囲外では“—”表示となります。

*4 = 電波受信中、時刻セット中、通常ライト点灯中、アラーム報音中は計測を中断します。

電波時計について

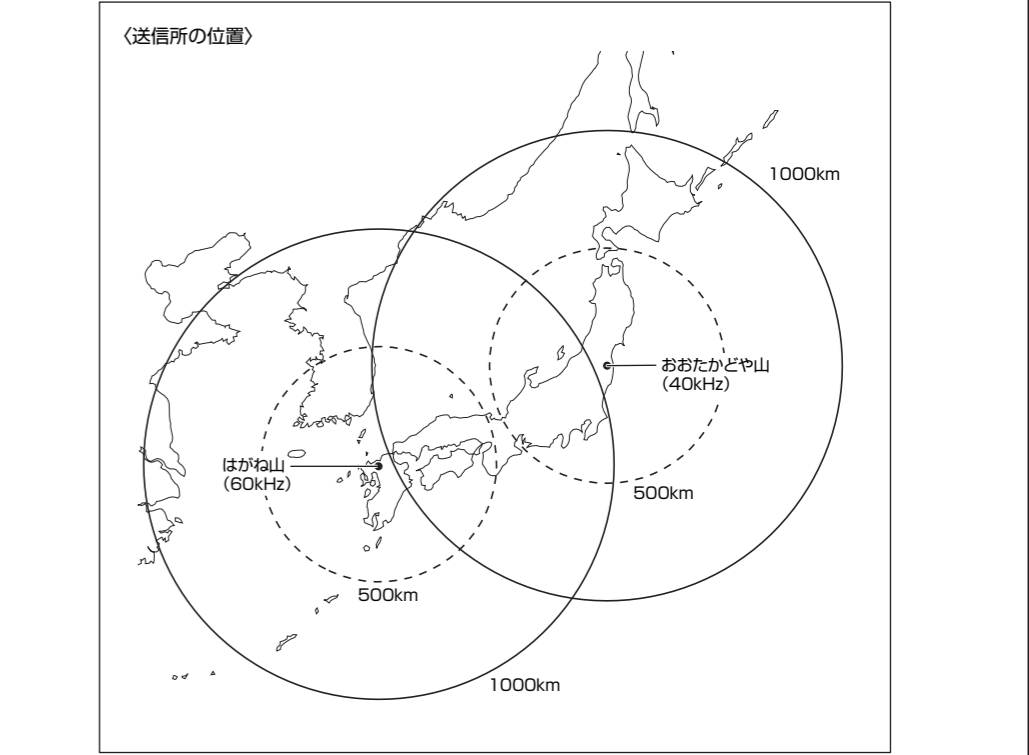
- 電波時計とは**
正確な時刻情報〔日本標準時〕をのせた長波標準電波（JJY）を受信することにより、正しい時刻を表示する時計です。

日本標準時：日本の時刻のもとになるもので、テレビの時報などに利用されています。この標準時は「セシウムビーム型原子周波数標準器」などにより制御されています。

<p>電波時計は正確な日本標準時を受信していますが、時計内部の時刻演算処理などにより、時刻表示に1秒未満のずれが生じます。</p>







- 標準電波**
標準電波は独立行政法人情報通信研究機構（NICT）が運用しており、福島県の「おたかどや山」（40kHz）および佐賀県と福岡県の境の「はがね山」（60kHz）から送信されています。この標準電波はほぼ24時間継続して送信されていますが、保守作業や雷対策などで一時送信が中断されることもあります。

- 電波の受信範囲の目安**
条件の良いときは、送信所からおおよそ1000km離れた場所でも受信することができます。ただし、約500kmを超えると電波が弱くなるので、受信しにくくなることがあります。受信範囲内であっても、地形や建物の影響を受けたり、季節や天候、使用場所、時間帯（昼/夜）などによって受信できないことがあります。電波の特性により、夜間の方がより受信しやすくなります。一般的に送信所からの距離が近い方の電波が受信しやすいと考えられますが、電波環境や使用場所によっては、送信所からの距離が遠い方の電波が受信しやすい場合があります。




- 電波受信について**
本機は「おたかどや山」（40kHz）と「はがね山」（60kHz）の2局より受信しやすい方の電波を自動的に選択し受信を行います（自動選局機能）。通常は毎日、電波受信を自動的に行います（自動受信）。

- 使用場所について**
本機は、テレビやラジオなどと同様に、電波を受信するものです。本機を使用するときは、「電波を受けやすい」部屋の窓際などでご使用することをおすすめします。以下のような場所では、電波を受信しにくくなりますので、このような場所は避けて本機をお使いください。

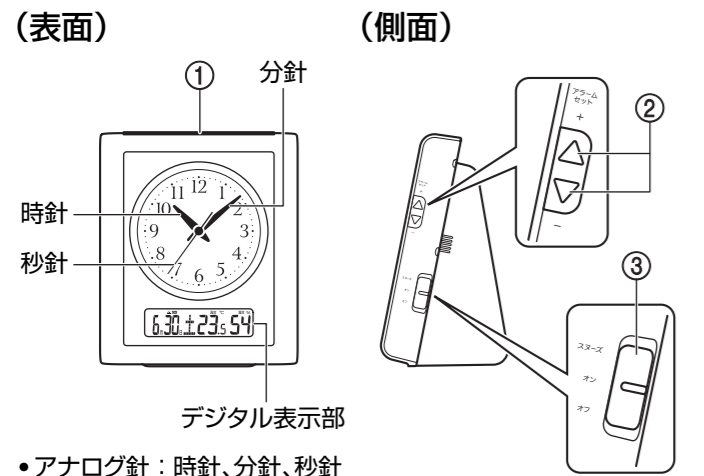
		
マンションやビルなどの鉄筋、鉄骨の建物の中およびその周辺（ビルの谷間など）	高圧線、架線の近く	乗り物の中（自動車、電車、飛行機など）
●ただし、窓際で使用すると受信しやすくなります。		
		
家庭電化製品、OA機器のそば、金属板上（テレビ、スピーカー、FAX、パソコン、携帯電話など）	電波障害の起きるところ（工事現場、空港のそば、交通量の多いところなど）	山の裏側…など

- 正しく電波受信するために**
電波受信できる場所でお使いください（「使用場所について」参照）。ボタン操作で現在時刻を修正すると、以後24時間自動受信は行いません。ただし、この間に手動受信を行うと、その時点で解除されます。電波受信を行わない間は、「製品仕様」記載の精度で計時します。電波障害により、誤った信号を受信することがあります。電波の自動受信は、1日7回（午前2:01、午前3:01、午前6:01、午前10:01、午後2:01、午後6:01、午後10:01）行います。ただし、アラームがオンで「自動受信を行う時刻台にアラーム時刻を設定している」場合、その時刻台の自動受信は行いません。例：アラームがオンでアラーム時刻を午前6時15分に設定しているときは、午前6時1分の自動受信は行いません

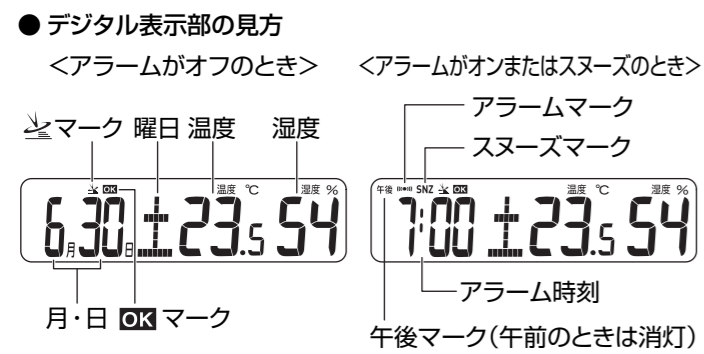
<p>最も受信しやすい設置のしかた</p> （ ●時計表示部または裏面を電波送信所に向かい合うようにする ） （ ●金属板の上などを避けて窓際で行う ）	
--	---

- 受信中（受信インジケーター表示中）に時計を動かしたりボタン操作をしないでください。
- ボタン操作で現在時刻を修正すると、以後24時間自動受信は行いません。ただし、この間に手動受信を行うと、その時点で解除されます。
- 電波受信を行わない間は、「製品仕様」記載の精度で計時します。
- 電波障害により、誤った信号を受信することがあります。
- 電波の自動受信は、1日7回（午前2:01、午前3:01、午前6:01、午前10:01、午後2:01、午後6:01、午後10:01）行います。ただし、アラームがオンで「自動受信を行う時刻台にアラーム時刻を設定している」場合、その時刻台の自動受信は行いません。例：アラームがオンでアラーム時刻を午前6時15分に設定しているときは、午前6時1分の自動受信は行いません

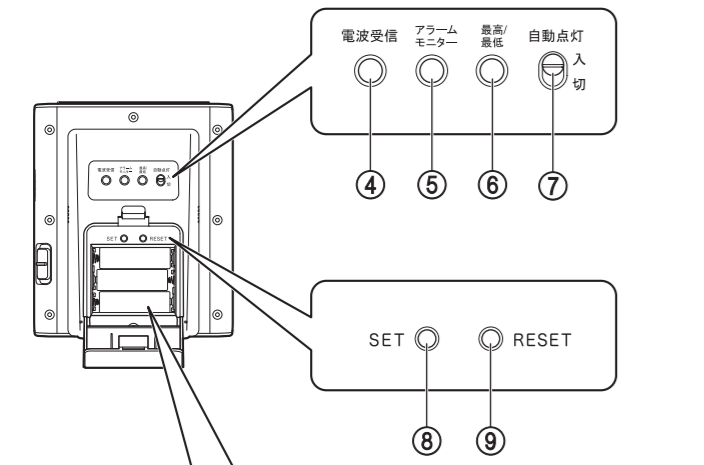
各部の名称と表示の見方



アナログ針：時計、分針、秒針

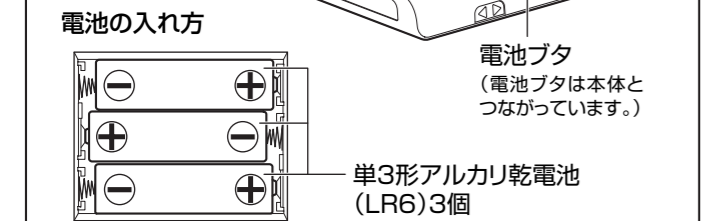
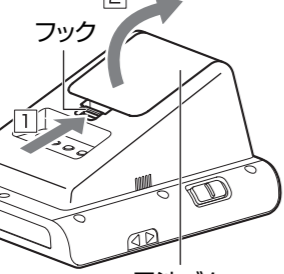


(裏面 電池ボックスを開けたところ)



● 電池交換のしかた 電池ボックスの開け方

- フックを押しながら
- 矢印の方向に開けてください



- ① ボタン (スヌーズ/ライト)**
ライトを点灯するときに押します。約5秒間ライトが点灯します。アラーム報音中に音を止めるときに押します。
 - ② ボタン (アラームセット + -)**
アラーム時刻 (または現在時刻など) を合わせるときに使用します。
 - ③ スイッチ (スヌーズ オン オフ)**
アラームのスヌーズ/オン/オフを切り替えるときに使用します。
 - ④ ボタン (電波受信)**
すぐに電波を受信したいときに押します (手動受信)。
 - ⑤ ボタン (アラームモニター)**
アラームの音を試験するときに押します。
 - ⑥ ボタン (最高/最低)**
今日と前日の最高温度、最低温度、最高湿度、最低湿度を見るときに使用します。
 - ⑦ スイッチ (自動点灯 入 切)**
入…アラームをスヌーズまたはオンにすると、自動的にライトの常時点灯を行います。
切…常時点灯を行いません。
 - ⑧ ボタン (SET)**
現在時刻などを合わせるときに使用します。
 - ⑨ ボタン (RESET)**
電池交換後、必ず押します。
 - ボタンが押しにくい場合は先端の細いもので押してください (製品を傷つけないようご注意ください)。
- ★図は操作説明用ですので、実際の製品とはデザインなどが異なることがあります。

はじめてお使いになるときは (電池交換時もお読みください)

「各部の名称と表示の見方」も一緒にご参照ください。

1 「表示用シール」を取り外します

- 機種によりデジタル表示部に「表示用シール」をつけて出荷しております。ご使用前に必ずこの「表示用シール」を取り外してください。

2 電池を入れます

電池ボックスを開き、⊕ ⊖ の向きに注意して、電池を正しく入れます (「各部の名称と表示の見方」の「電池交換のしかた」参照)。

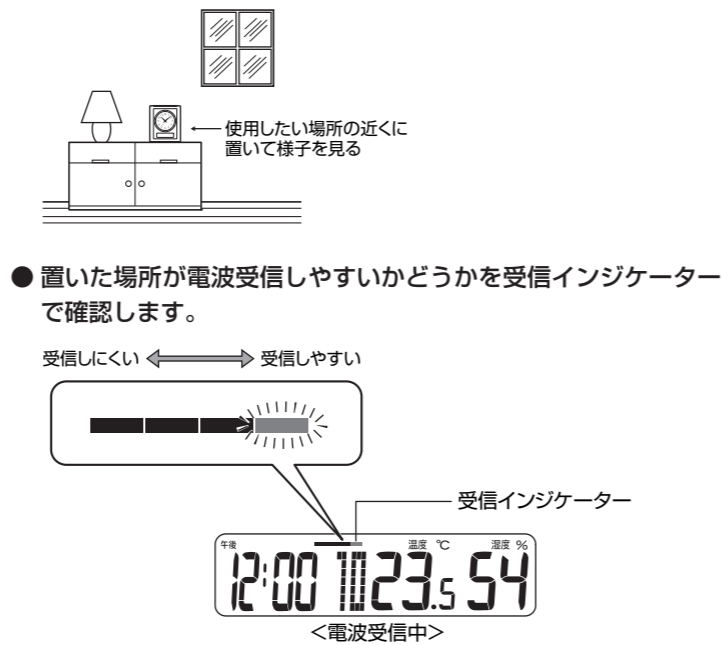
3 リセット操作を行います

⑨ ボタンを押します。
デジタル表示部が「午後 12 : 00 00」、アナログ針が 12 時の位置まで自動的に送られます。アナログ針が 12 時位置になると自動的に電波受信を開始します。

- 電池を入れた時点で時計としての動作が始まっていますが、そのままリセット操作をしてください。
- ボタンが押しにくい場合は先端の細いもので押してください (製品を傷つけないようご注意ください)。
- リセット操作が終わったら電池ボックスを閉じます。

4 電波受信の様子を見ます (使用したい場所の近くに置きます)

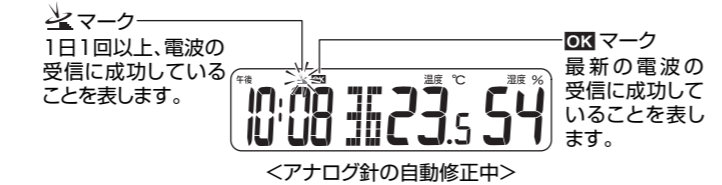
- 使用したい場所の近くに置きます。



- 電波を受信中は受信インジケーターで受信状態をお知らせします。電波を受信しやすいと多く点灯します (最大 4 個)。
- 受信インジケーターは使用場所を決める際の目安としてお使いいただけます。
- 電波の自動受信は、1日7回 (午前 2 : 01、午前 3 : 01、午前 6 : 01、午前 10 : 01、午後 2 : 01、午後 6 : 01、午後 10 : 01) 行います。ただし、アラームがオンで「自動受信を行う時刻台にアラーム時刻を設定している」場合、その時刻台の自動受信は行いません。
例：アラームがオンでアラーム時刻を午前 6 時 15 分に設定しているときは、午前 6 時 1 分の自動受信は行いません。
- 1 回の電波受信は約 2 ~ 16 分間 (リセット直後の電波受信は約 4 ~ 16 分間) です。
- 電波を受信中はボタン操作をしないでください (電波受信を終了します)。

5 電波受信の結果を見ます

電波の受信に成功すると「OK」マークと「±」マークが点灯します。



デジタル表示部…すぐに正しい時刻に修正されます (アナログ針の修正中は、時刻表示を行います)。

- アナログ針…正しい時刻の位置まで針が自動的に進みます。
- アナログ針が 1 分前後で進んでいた場合は、その間針は停止します。
 - 時刻修正が完了するまで、最大 5 分程度かかります (その間「±」マークが点滅し続けます)。
 - 「±」マーク点滅中は、手動受信は行えません。

- 「OK」マークと「±」マークは正しい時刻が表示されているかどうかの目安になります。
- 「±」マークは、電波の受信に成功していても午前 2 時と午前 3 時になると一度消灯します。その後、電波の受信に成功すると再び点灯を継続します。

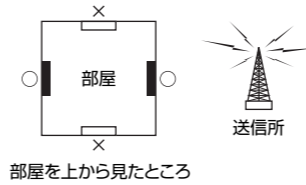
● 電波を受信できなかった場合
数分後に電波の受信を終了します。受信インジケーターが消え、「OK」マークは点灯しません。
上記のような場合は「電波を受信しにくい場合」をご参照ください。

- 1 ~ 2 週間電波受信の様子を見ます。
電波受信は地形や建物の影響を受けたり、季節や天候、使用場所、時間帯 (昼/夜) などによって変わります。
1 ~ 2 週間様子を見ることをおすすめします。

- 「±」マークが常に点灯している、または点灯しているときが多い
→ そのまま、その場所でお使いになれます。
- 「±」マークが全く点灯しない、またはときどきしか点灯しない
→ その場所では電波受信しにくいので、向きや場所を変えてください。
→ その場所で使用する場合にボタン操作で時刻を合わせてご使用ください (「電波を受信しにくい場合」の「電波を受信しにくい状態が続く場合」参照)。
そして受信可能な別の場所できるとき電波受信を行ってください。

電波を受信しにくい場合

- 電波を受信しにくい場合



電波受信は地形や建物の影響を受けたり、季節や天候、使用場所、時間帯 (昼/夜) などによって変わります。

【電波時計について】の「使用場所について」および「正しく電波受信するために」もご参照の上、<電波受信の方法>を試して 1 ~ 2 週間様子を見てください。

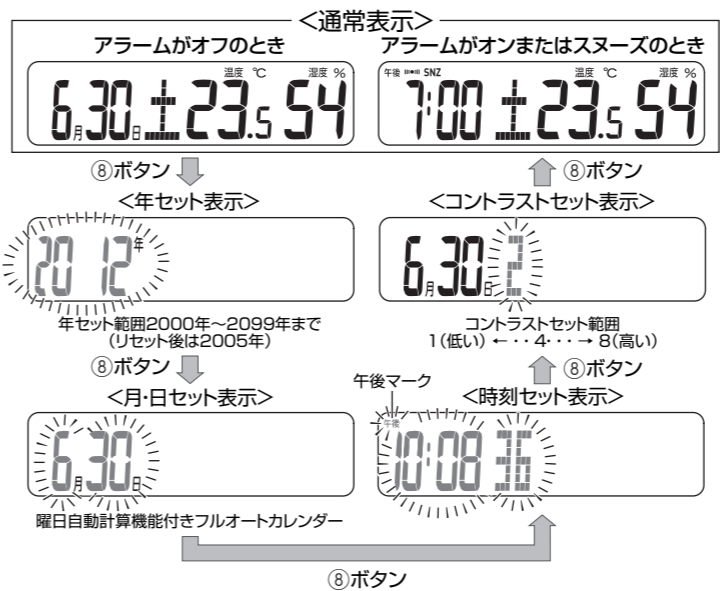
- <電波受信の方法>
 - スヌーズアラーム機能 (「アラームの使い方」参照) が機能している間 (スヌーズマーク点滅) は、操作できません。スヌーズアラーム機能を解除してから操作してください。
 - 本機の向きや場所を変えて④ ボタンを押してください (再度、電波受信を行います)。

● 電波を受信しにくい状態が続く場合

- 電波受信により、時刻修正できないときに以下の操作を行ってください。以下の操作で時刻を修正すると、修正後 24 時間は自動受信は行いませんのでご注意ください。
- アナログ針は、セットした時刻に合わせて自動的に修正されます。

1 セット表示に切り替えます

- ⑧ ボタンを押すことにより以下の順で表示が切り替わります (「各部の名称と表示の見方」参照)。
- スヌーズアラーム機能 (「アラームの使い方」参照) が機能している間 (スヌーズマーク点滅) は、操作できません。スヌーズアラーム機能を解除してから操作してください。



2 カレンダーや時刻などをセットします

⑧ ボタンを押してセットしたい表示に切り替えます (「各部の名称と表示の見方」参照)。

- 各表示の点滅箇所がセットできます。
 - ② ボタン+側を押します…点滅箇所の数字が進みます。
 - ② ボタン-側を押します…点滅箇所の数字が戻ります。
- ② ボタンは、<コントラストセット表示>以外するとき、+側/-側ともに押し続けると早送り/戻しができます。
- <時刻セット表示>のときにボタンを押して分を進めた (戻した) タイミングで 00 秒になります。

3 通常表示に戻します

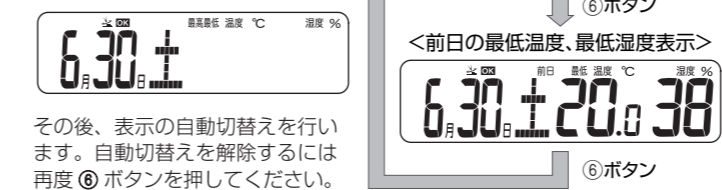
- ⑧ ボタンを押して<通常表示>に戻します (「各部の名称と表示の見方」参照)。
→ 通常表示に戻ったときに点滅は終了します。
→ テレビや電話サービスなどの時刻と照合してください。
→ セット表示で何も操作しないと、約 3 分後に自動的に<通常表示>に戻ります。
- 電波受信成功後のアナログ針の自動修正中 (「±」マーク点滅中) にセット表示に切り替えると自動修正は中断され、通常表示に戻した後、再び修正が始まります。

温度・湿度表示について

● 最高温度・最高湿度表示/最低温度・最低湿度表示

本機は計測データの中から以下のデータを自動的に記録します。⑥ ボタンを押すと表示を切り替えて見ることができます (「各部の名称と表示の見方」参照)。

- スヌーズアラーム機能 (「アラームの使い方」参照) が機能している間 (スヌーズマーク点滅) は、操作できません。スヌーズアラーム機能を解除してから操作してください。
- 今日の最高温度・最高湿度表示
今日の最低温度・最低湿度表示
前日の最高温度・最高湿度表示
前日の最低温度・最低湿度表示
各データは夜の 012 時に更新されます。
- ⑥ ボタンを約 1 秒間押し続けると、表示の自動切替えを行います (数秒間隔で表示切替え)。表示の自動切替えは、今日のデータのみ行います。自動切替えが有効になったとき「最高」「最低」のマークを残して温度と湿度のデータが不灯 (約 2 秒間) になり、お知らせします。



その後、表示の自動切替えを行います。自動切替えを解除するには再度 ⑥ ボタンを押してください。

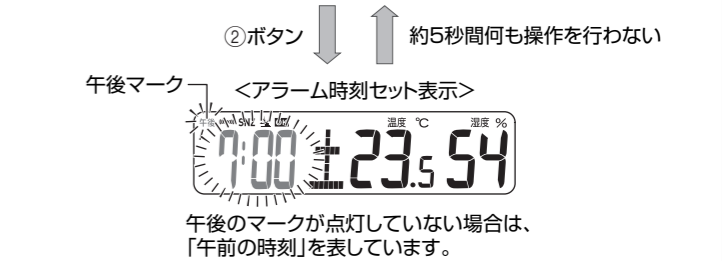
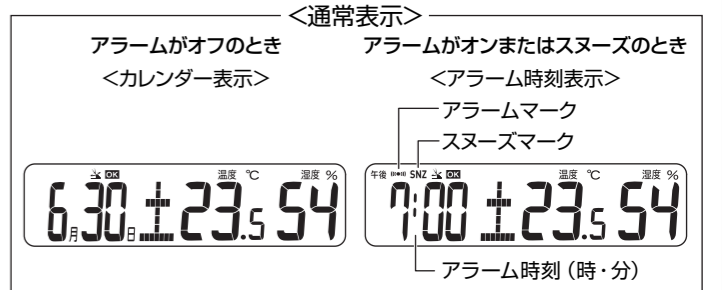
アラームの使い方

- アラーム機能

毎日、同じ時刻にアラーム音を鳴らすことができます。アラームにはオン/スヌーズがあり、鳴らしたくない場合はオフにセットしておきます。

1 アラーム時刻を設定します

- ② ボタンを 1 回押すと、<カレンダー表示>または<アラーム時刻表示>が<アラーム時刻セット表示>に切り替わり、アラーム時刻が点滅します。<アラーム時刻セット表示>で約 5 秒間何も操作を行わないと、自動的に<カレンダー表示>または<アラーム時刻表示>に戻ります。
- スヌーズアラーム機能が機能している間 (スヌーズマーク点滅) は、操作できません。スヌーズアラーム機能を解除してから操作してください。



- アラーム時刻セット表示中に再度
 - ② ボタン+側を押します…アラーム時刻が進みます。
 - ② ボタン-側を押します…アラーム時刻が戻ります。

- ② ボタンは、+側/-側ともに押し続けると早送り/戻しができます。
- 電波受信中に ② ボタンを押すと電波受信は中断されます。

2 スヌーズ/オン/オフを設定します

- ③ スイッチの位置でアラームのスヌーズ/オン/オフが設定できます。

③ スイッチ	鳴り方
スヌーズ (●●●) SNZ	アラーム時刻になるとアラーム音が 1 分間鳴ります。なお⑧ ボタンを押してアラーム音を止めても、5 分おきにアラーム音が鳴ります。この動作を最大で 7 回繰り返します。 <ul style="list-style-type: none">● スヌーズマーク (SNZ) が点滅しているときは、アラーム音が再び鳴ります (スヌーズアラーム機能中)。
オン (●●●)	アラーム時刻になるとアラーム音が 1 分間鳴ります。
オフ	アラーム時刻になってもアラーム音は鳴りません。

- アラーム音は 1 分間 5 段階でだんだん変化します。
- アラームをスヌーズまたはオンに設定すると、<カレンダー表示>が<アラーム時刻表示>に切り替わります。オフに設定すると<カレンダー表示>に戻ります (アラームは鳴りません)。

- 鳴っているアラーム音を止めるには、① ボタンを押します (スヌーズアラームのときは再び鳴ります)。
- スヌーズアラーム機能を解除するには、③ スイッチを「オフ」にします。

- アラーム音をためしに聞くには
 - ⑤ ボタンを押すとアラーム音を聞くことができます。再度 ⑥ ボタンを押すと音が止まります (「各部の名称と表示の見方」参照)。
 - スヌーズアラーム機能が機能している間 (スヌーズマーク点滅) は、操作できません。スヌーズアラーム機能を解除してから操作してください。

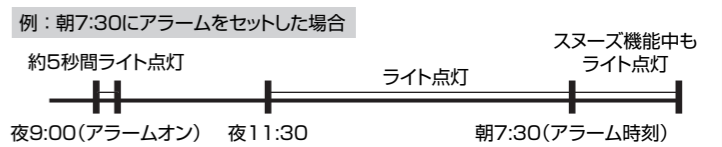
● 秒針停止機能

アラームをオン/スヌーズにすると、アラーム時刻の約 8 時間前から、秒針が 00 秒の位置で止まります (時計、分針は通常通り動きます)。秒針が停止しているため、寝ているときなどに「秒針が動くときの音」が気になりません。アラーム報音終了後 (またはスヌーズアラーム報音終了後) に、すぐに正しい時刻まで秒針が移動し、通常通り動き始めます。また、アラームをオフにすると、すぐに正しい時刻まで秒針が早送りされてから、通常通り動き始めます。

- 常時点灯ライト機能
夜間の暗いときでも時刻を見やすくするため、光量を落とすことでライトを常時点灯します (③ スイッチがオンまたはスヌーズのときのみ)。

- ⑦ スイッチ 自動点灯 入…③ スイッチをオンまたはスヌーズに設定すると、ライトが自動的に常時点灯になります。
- ⑦ スイッチ 自動点灯 切…③ スイッチをオンまたはスヌーズに設定しても、ライトは点灯しません。

ライトはアラーム時刻の約 8 時間前から点灯します。アラーム時刻まで約 8 時間以上ある場合は、アラームをオンまたはスヌーズに設定したときに約 5 秒間点灯し、一度消灯します。その後、約 8 時間前になったときに再びライトは点灯します。



- 常時点灯ライト機能はスヌーズが機能中も有効となります。ライトはスヌーズを繰り返し、機能がオフになったとき、またはアラーム機能をオフにしたとき消灯します。

表示のコントラストを調整する

コントラストを 1 ~ 8 の範囲で調整できます。「電波を受信しにくい場合」の「電波を受信しにくい状態が続く場合」の手順 1 ~ 3 を参照し、<コントラストセット表示>でコントラストを調整します。